

競技注意事項

1 規則について

本競技会は2024年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

2 競技場の入退場及び競技者受付について

- (1) 会場への競技者、指導者、同伴者の入退場口は2階正面エントランスのみとする。
- (2) 開門時刻は各日とも7:45とする。また、状況により競技者のビブスを受け取る指導者およびその日の第1種目に出場する競技者とその同伴者を優先的に入場させる場合がある。
- (3) アスリートビブス及びプログラムは、団体ごとに指導者及び顧問・引率者が受け取ること。
- (4) プログラムの記載事項(氏名、学年、所属等:申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。)に間違いがあった場合には、8時30分または出場する競技の2時間前までにTICに申し出ること。
- (5) プログラムは残部がある場合に限り、TICで販売する。

3 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・代表者を通じて、8時30分または当該競技開始時刻の90分前までにTICに申し出ること。

4 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い(競技運営上一時的に制限することがある)、指定された場所・時間の範囲内で、各々が事故防止に万全を期して行うこと。
- (2) 競技場内(競技区域内)に入場できるのは、ウォーミングアップの際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。
※指導者・引率者等は競技場内のスタンドから助言(指導)を行うこと。
- (3) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。
- (4) トラック競技の練習は1日目9時45分まで、2日目9時15分までトラック全周を使用してよい。但し、ハードルが設置されるレーンに注意すること。9時45分以後は競技役員の指示に従ってバックストレートで練習することができる。

(5) ハードルの練習については以下の通りとする。

	種別	設置場所・時間	
1 日目 8/24	3 年男子 110mH	メインストレート 8 レーン 9 : 00 ~ 9 : 45	バックストレート 8 レーン 11 : 30 ~ 12 : 40
	2 年男子 110mH	メインストレート 7 レーン 9 : 00 ~ 9 : 45	バックストレート 7 レーン 11 : 30 ~ 12 : 40
	3 年女子 100mH	メインストレート 5 レーン 9 : 00 ~ 9 : 45	バックストレート 5 レーン 11 : 30 ~ 12 : 40
	2 年女子 100mH	メインストレート 4 レーン 9 : 00 ~ 9 : 45	バックストレート 4 レーン 11 : 30 ~ 12 : 40
2 日目 8/25	1 年男子 100mH	メインストレート 7・8 レーン 8 : 30 ~ 9 : 15	バックストレート 8 レーン 12 : 30 ~ 13 : 30
	1 年女子 100mH	メインストレート 4・5 レーン 8 : 30 ~ 9 : 15	バックストレート 6 レーン 12 : 30 ~ 13 : 30
	U16 男子 110mH		バックストレート 7 レーン 12 : 30 ~ 13 : 30
	U16 女子 100mH		バックストレート 5 レーン 12 : 30 ~ 13 : 30

(6) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、招集完了後に各々の競技場所で行うこと。

5 招集について

(1) 招集所を、100m スタート付近ダッグアウト内に設置する。

(2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。

(3) 招集の方法

① 所定の時刻に招集所で競技者係による点呼を受けること。代理人による点呼は認めず、招集完了時刻までに点呼を受けなかった場合は当該種目を棄権したものととして処理する。

また、招集時にアスリートビブス・スパイクピンのチェックを行う。その際、トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を受け取ること。

なお、招集時やスタート前に靴底の厚さのチェックは行わないが、競技中に審判長が疑義を抱いた場合には競技終了後に靴の提出を求め、検査を行うことがある。

② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内に持ち込むことはできない。

③ 棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。

6 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスおよび腰ナンバー標識、安全ピンは主催者が用意する。

(2) アスリートビブスは配付されたままの大きさと、胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。

(3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技者係で受け取り、右側の腰の高い位置（ランニングパンツやタイツに装着することとし、上衣への装着は不可とする）に、記載の数字が身体の本横の位置となるように注意して付けること。

7 競技について

(1) 競技用靴について、以下のとおりとする。

- ① 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、ジャベリックローは12mm以下とする。
- ② 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。

トラック種目 (800m未満)	20mm
トラック種目 (800m以上)	25mm

フィールド種目：日本陸上競技連盟発出のTR5.2の適用除外処置を適用する。

よって、記録は国内でのみ適用するものとなり、WAへの申請も行わない。しかし、国際競技会への参加資格となりうる記録が出た場合は、競技終了後、直後に全員のシューズを検定する場合がある

(2) トラック競技の計時は全て写真判定装置を使用する。トラック競技の走路順・フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。ただし、欠場の申し出により招集開始前に出場者が8名以下となった場合は、番組を再編成して行うことがある。

(3) トラック競技の順位を決定する際、同記録の場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合には、同順位とする。なお、準決勝、決勝の進出者を決定するにあたり同順位があってもレーンが不足する場合には抽選を行う。該当競技者にアナウンスで通知するが、指定の時刻までに本人または代理人が指定の場所に来なかったときはその権利を放棄したものとみなす。

(4) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ることに注意すること。

(5) 男子3000mはグループスタートで行う。

(6) 中学1年女子800m予選はオープンスタート（レーンを使用しない）で行う。

(7) 競技（練習）で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。但し、棒高跳用ポールは除く。

(8) ハードルは次の規格で行う。

区分	高さ	ハードル間	区分	高さ	ハードル間
U16男子	0.991m	9.14m	U16女子	0.762m	8.50m
3年男子	0.991m	9.14m	3年女子	0.762m	8.50m
2年男子	0.914m	9.14m	2年女子	0.762m	8.00m
1年男子	0.838m	8.50m	1年女子	0.762m	8.00m

(9) 投てき用器具の重量は次の通りとする。

区分	種目	重量	区分	種目	重量
U16男子	円盤投	1.500kg	U16女子	円盤投	1.000kg
	ジャベリックロー	0.300kg		ジャベリックロー	0.300kg
3年男子	砲丸投	5.000kg	3年女子	砲丸投	2.721kg
1・2年男子	砲丸投	4.000kg	1・2年女子	砲丸投	2.721kg
共通男子	円盤投	1.500kg	共通女子	円盤投	1.000kg
	ジャベリックロー	0.300kg		ジャベリックロー	0.300kg

(10) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	競技
共通 男子	1m40 1m60	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする
共通 女子	1m20 1m40	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	1m46	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする

※1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

(11) 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	競技
共通 男子	2m40 3m00 3m40 3m80	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	以後最後の1人になるまで10cm刻みとする
共通 女子	1m70 2m10 2m50 2m90	1m80	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	2m50	以後最後の1人になるまで10cm刻みとする

※1位決定のためのバーの上げ下げは5cmとする。

(12) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

(13) 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9mの地点に設置する。

(14) ジャベリックスローに適用される競技規則は、やり投の競技規則に準ずる。投げ方に関してはTR38.1を次のように読み替える。

ジャベリックは片手で胴体の部分を握らなければならない。ジャベリックは肩または投げる方の腕の上で投げなければならない。振りまわして投げてはならない。上記以外の投げ方は認められない。

(15) グラウンド内は、原則として全て競技区域とする。従って、競技中の助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの競技中の助言(指導)は、審判長による警告(イエローカード)及び除外(レッドカード)の対象となる。

8 抗議について

(1) 競技の結果または競技中の審判員の裁定に関する抗議を行う場合は、その種目の競技結果が電光掲示板で正式発表されてから30分以内、次のラウンドが同日に行われる場合は15分以内にチームの公式な代表者がTICに申し出ること。

(2) フィールド種目は、TR8.5に基づく現場での抗議(競技中の抗議)についても可能とする。

9 表彰について

東京ジュニアの各種目1位より8位までの入賞者に賞状を授与する。競技結果が正式に発表されてから30分以降にTICで受け取ること。

10 その他

- (1) 競技中の事故における怪我については主催者が応急処置を行うが、責任は負わない。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等に十分注意すること。
- (3) 届けられた遺失物については、競技会終了時までT I Cで保管する。
- (4) 大会運営、競技に関する不明な点はT I Cへ問い合わせること。
- (5) 記録はその都度、アナウンス及び記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (6) 記録証は1部300円で発行する。希望者は1日目15:20、2日目16:20までにT I Cにて申し込みを行うこと。
- (7) 2日目出場予定でも場所取りの為、1日目競技終了後、競技場内に荷物を置くことを禁止する。

JOC第55回U16陸上競技大会東京都代表選手最終選考会

兼第36回東京ジュニア陸上競技大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<https://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用ください。

競技会コード 24 13 0005

競技場コード 132090

